

令和1年度の事業報告書

令和 1年 7月 1日 から 令和 2年 6月 30日まで

特定非営利活動法人 日本アニマルセラピー協会

1 事業の成果

平成30年5月に理事長が交替して新体制のもとで様々な組織改革を行い、3年目の今年度も引き続き組織内部の体制整備と、経営基盤の安定を図ってまいりました。

新型コロナウイルスの影響により、アニマルセラピー訪問による収入が途絶え、非常に厳しい状況が続きましたが、街頭啓発活動やウェブによる積極的な情報発信を通じて、アニマルセラピー活動の存続を願う全国の方々からのご寄付による支援が増加しました。

(1) セラピードッグの訪問活動

今年度は約270件のアニマルセラピー活動による訪問を実施しました。新型コロナウイルスの影響を受け、3月以降はアニマルセラピーの施設訪問活動がほぼ実施できなくなり、現在もその状況が続いております。

(2) アニマルセラピスト、セラピードッグの育成

質の高いアニマルセラピー活動を実施するためには、アニマルセラピスト及びセラピードッグの育成が重要です。当協会のアニマルセラピスト資格取得講座は通学コースに重点を置き、少人数制による講師からのきめ細かい直接指導と実務研修を併用し、アニマルセラピスト資格取得者が増えました。

(3) 富士の里（静岡県三島市）の整備

従来の老犬ホーム・訓練場を、セラピードッグと触れあえる広場として一般の方に向けて開放しました。セラピードッグの飼育環境の改善と老朽化した施設の整備を引き続き進めました。富士の里環境改善のためのプロジェクトにクラウドファンディングを通して多数の方々からご支援いただきました。

(4) 犬の飼育環境の改善

神奈川県大和市と静岡県三島市にいる犬の頭数を適正な数にして飼育環境を良くするため、犬の譲渡を進めました。少ない人員の中でも犬のケアが行き届くようになり、飼育環境は改善されてきました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	活動計算書の事業費の金額(単位:円)
セラピードッグ介在療法の実施に関する事業	各種福祉施設・小学校等を訪問し、動物介在療法活動を行うとともに、セラピー療法の調査・研究及び広報啓発活動を行う。	(A) 通年 (B) 主に神奈川県、静岡県、東京都 (C) 15人	(D) 各種対象施設入所者 (E) 不特定多数	7,172,462円
セラピードッグの育成・訓練及び訓練士の育成に関する事業	セラピードッグの育成・訓練を行い、セラピードッグの資格認定試験を実施し、それと同時に訓練士(ドッグトレーナー)の随時募集をして、セラピードッグの育成及び訓練士の育成を行う。	(A) 通年 (B) 主に神奈川県、静岡県 (C) 3人(指導員)	(D) 高齢者、障害者等 (E) 不特定多数	0円
アニマルセラピストの育成・指導に関する事業	全国の受講生に対して同協会の資格認定書を交付し、その後の同協会活動推進者を募る。	(A) 通年 (B) 主に神奈川県、静岡県 (C) 5人	(D) 高齢者、障害者等 (E) 不特定多数	17,625,014円

<p>セラピードッグ等管理 サービス事業</p>	<p>セラピードッグの認定、老犬ホーム 及びペットホテル、ペットの美容サロン 等、セラピードッグ等に関するサ ービス提供を行う。</p>	<p>(A) 通年 (B) 主に神奈川県、静岡県 (C) 4人</p>	<p>(D) アニマルセラピスト 認定者、高齢 者及び障害 者等 (E) 不特定多数</p>	<p>18,937,050円</p>
<p>動物病院の実施に 関する事業</p>	<p>当協会の利用登録者を中心 に対象としたセラピードッグの 診療、健康診断等を目的とす る。</p>	<p>(A) 通年 (B) 主に神奈川県、静岡県 (C) 1人</p>	<p>(D) 当協会の 利用登録 者等 (E) 不特定多数</p>	<p>0円</p>

活動計算書

令和1年7月1日から令和2年6月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 日本アニマルセラピー協会

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員会費収入	3,148,000	3,148,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	55,738,064	55,738,064
3. 事業収益		
セラピスト・ドッグ介在療法収入	4,975,325	
訓練士の育成事業収入	0	
セラピスト育成事業収入	12,179,592	
セラピスト・ドッグ等管理・サービス収入	13,108,170	
動物病院事業収入	0	
		30,263,087
4. その他収益		
受取利息	8	
貸倒引当金戻入	13,387	
雑収入	2,435,590	
		2,448,995
経常収益計		91,598,146
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給与	20,519,533	
法定福利費	580,041	
厚生費	83,519	
人件費計	21,183,093	
(2) その他経費		
その他仕入 期首棚卸高	632,261	
犬仕入高	0	
その他仕入	771,180	
その他仕入 期末棚卸高	921,091	
事業原価 計	482,350	
外注費	5,283,708	
旅費交通費	1,579,940	
広告宣伝費	719,981	
発送配達費	40,175	
会議費	356,991	
減価償却費	1,707,280	
修繕費	255,865	
事務用消耗品費	207,873	
通信費	1,475,886	
備品消耗品費	3,198,978	
車輛費	3,733,107	
委託費	365,920	
飼育関連費	3,143,379	
その他経費計	22,069,083	
事業費計		43,734,526

2. 管理費			
(1) 人件費			
給与	1,500,000		
人件費計	1,500,000		
(2) その他経費			
地代家賃	10,358,202		
水道光熱費	1,537,389		
租税公課	1,998,804		
支払寄付金	1,000		
接待交際費	957,112		
保険料	513,600		
管理諸費	2,944,251		
貸倒引当金繰入	1,324		
雑費	825,269		
その他経費計	19,136,951		
管理費計		20,636,951	
経常費用計			64,371,477
当期経常増減額			
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
支払利息	193,447		
雑損失	1,240,000		
経常外費用計		1,433,447	
V 税引前当期正味財産増加額			25,793,222
VI 法人税、住民税及び事業税			141,001
当期正味財産増減額			25,652,221
前期繰越正味財産額			-28,512,527
次期繰越正味財産額			-2,860,306

令和1年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

令和2年6月30日現在

特定非営利活動法人 日本アニマルレブ・協会

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
小口現金	533,643		
普通預金 (みずほ銀行)	17,684,498		
普通預金 (ゆうちょ銀行・口座振替)	6,887,119		
売掛金 (3件分)	113,574		
商品 (Tシャツ他等)	921,091		
未収入金	90,869		
貸倒引当金 (△)	△1,324		
流動資産合計		26,229,470	
2 固定資産			
簡易建物 (犬用)	1		
建物付属設備(給排水設備一式)	534,899		
構築物 (犬舎一式)	3,464,832		
車両 (中古犬運搬用)	163,463		
工具、器具及び備品 (エアコン他)	279,183		
敷金 (社宅・事務所家賃)	1,481,000		
長期前払費用 (車リサイクル預託金)	28,230		
固定資産合計		5,951,608	
資産合計			32,181,078
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金 (家賃他)	354,000		
未払費用(給与等)	2,541,646		
未払法人税等 (2県2市の均等割)	141,000		
未払消費税等	609,400		
預り金 (源泉税・住民税)	21,407		
仮受金	521,638		
流動負債合計		4,189,091	
2 固定負債			
長期借入金 (理事等より借入)	23,635,000		
長期未払金 (違約金)	7,217,293		
固定負債合計		30,852,293	
負債合計			35,041,384
正味財産			-2,860,306